

かのうの子



東御市立和小学校学校だより 令和4年5月号

5月の校長講話

「本がもつ、すごい力」

全校のみなさん、おはようございます。

今日は、読書週間にちなんで、「本がもつ、すごい力」の話をしたと思います。

この方を知っていますか？ 科学者の吉野彰さんといいます。吉野さんは、「リチウムイオン電池」の発明が評価されて、2019年にノーベル化学賞を受賞しました。リチウムイオン電池というのは、小さくて、充電ができて、安全なので、デジタルカメラや携帯電話、スイッチなどのゲーム機のバッテリーとして使われています。その他にも、電気自動車などの大きなものにも使われていて、環境にやさしい社会の実現にもつながると期待されています。

吉野さんが化学に興味をもつようになったのは、小学校4年生の時に、担任の先生がすすめてくれた「ロウソクの科学」という本を読んだことがきっかけだそうです。吉野さんは、「ロウソクはなぜ燃えるのか、炎はなぜ黄色いのかといった内容で、子供心に化学は面白そうだなと思った」と語っています。この本を読んだから、吉野さんは、家などにある身近な材料を使って、どんどん実験するようになり、化学も得意になっていったそうです。そして、ついには、ノーベル賞という世界最高の賞をもらう科学者にまどなったのです。



よしの かがく
吉野さんが科学に
きょうみ
興味をもったきっかけは

ねん とき
4年の時によんだ
かがく
「ロウソクの科学」という本



吉野さんが、小学校4年生の時に、「ロウソクの科学」という本に出会わなかったら、携帯電話も、スイッチのようなゲーム機も電気自動車もこの世にはなかったかも知れませんね。

ノーベル賞をとった吉野さんとはレベルは違いますが、実は、私にも、この本がきっかけで図工の先生になったのかもしれないと思う本があります。それは、「ももいろのきりん」という本です。図書館にもおいてありますの

かえ
なんでも読み返しては
こうさく
工作をしてあそんでいた
こうさく ず
「工作好き」が
すこう せんせい しごと
図工の先生という仕事につながる

で、読んだことがある人もいるかもしれません。「るるこ」という主人公が、お母さんにもらった大きなももいろの紙で「キリカ」いう名前のキリンをつくるお話です。私は、この本が大好きで、何度も何度も読み返しては、この話のように自分のつくったものが本当になればいいのになと思ながら、暇さえあれば工作をして遊んでいました。そうした工作好きが、「図工の先生」という私の仕事につながったと思っています。

また、久しぶりにこの本を読んだところ、この本からは、別の影響も受けていたことにも気がつきました。その



さい
40才すぎから
おお え
大きな絵を
クレパスを
つかってかく
ようになった

ことについてお話しします。「ももいろのきりん」のお話の中には、クレヨンがいっぱい実る「クレヨン山のクレヨンの木」というものが出てきます。こんな挿絵なのですが、きれいですよね。小さい頃の私は、このページを見るのが大好きでした。実は、私は、40歳を過ぎてからクレパスを使って絵を描くようになりました。こんな感じの絵です。こうした絵を描くようになったきっかけは、あるとき50色セットのクレ

パスと出会って、「きれいだな。これで絵を描いてみたいな」と思うようになったからです。その時の自分は忘れていたのですが、思い返してみると、小さい頃に「ももいろのきりん」のクレヨンの木の挿絵を見て、「きれいだな。このクレヨンで絵を描いてみたいな」と思ったことが、何十年もの間つながっていて、よみがえってきたのではないかと思っています。

和小学校では、読書週間だけでなく、毎週、朝読書の時間があったり、週に1回、図書館の時間があったりして、たくさんの本とふれあえる時間があります。そうして出会った本の中には、今は気がつかなくても、これからのみなさんの人生を変える本があるかもしれません。自分が好きな本、自分の気持ちにピッタリくる本は、何回読み返してもいいものです。図書館をいっぱい利用して、たくさんの本と出会い、自分にとってワクワクする大切な一冊を探してみましょう。

(5月11日 朝の時間 オンラインで実施)

どんな一冊に出会えたでしょうか?～春の読書週間～

5月9日(月)～13日(金)まで「春の読書週間」が行われました。週間中は、図書委員さんがお昼の放送で読み聞かせをしてくれたり、オンラインで大型絵本の読み聞かせをしてくれたりしました。図書館でも3冊貸し出しが行われ、いつも以上に図書館に足を運ぶ子が多く見られました。11日の校長講話で、学校長が図書館で、自分にとって大切な本と会いましょう。」と呼びかけると1年生が何人も身を乗り出して、担任の先生に「先生、早く図書館に行きたい!!」と言い始めました。小さな体に大きな図書袋を提げて、急ぎ足で図書館に向かう1年生の姿が今から目に浮かびます。



学校長のお話に興味津々、画面をじっと見つめる1年生の子どもたち



朝の活動の時間、オンラインで大型絵本を読み聞かせする図書委員のみなさん

学んだことを生かして上手に付き合っていこう～ネットリテラシー教室～

東御市教育委員会青少年係の小菅毅さんに来校していただき、4・5・6年生対象に「ネットリテ

ラシー」にかかわる授業をしていただきました。ゲームやスマホ依存症になってしまうと脳の発達が止まってしまうので、小学生のうちから依存症になってしまうことは大変危険であること、一度SNSにアップした言葉や映像は、自分の画面からは消せてもこの世からは絶対消しきれないこと、長時間スマホやゲームなどを使うことによって近く見続けることが眼球に悪影響を及ぼすことなどを詳しく教えてもらいました。また、「20分近くを見たら、20フィート（約6m）先を20秒間見ることが目の健康を守るために大切ということも教えてもらいました。多くの子どもたちから「ゲーム依存症には気をつけたい。」「自分のメディアとの付き合い方を見直そう。」といった感想が聞かれました。スマホやパソコンと付き合いずに生活することは不可能と言ってもいい時代です。子どもたちには今回学んだ「危険性」を自覚しながら上手に様々な機器を使ってほしいです。



子どもたちの感想

- ☆小学生は短期間で依存症になるそうです。私はそうならないように趣味を持っています。読書、ピアノ、そろばんなどです。外国ではやっている「20-20-20」をやりたいと思います。
- ☆ゲーム依存は子どもの方がなやすく、なってしまうと直すのが難しいと聞きました。私も気をつけたいと思いました。
- ☆「あ、前の投稿消したい!」と思っても自分の画面からは消えてもみんなの画面からは消えていないというのが怖いので、軽々しく投稿してはいけないんだと改めて思いました。
- ☆外で2時間以上遊ぶと、近視の原因となる物質の分泌を防げると教えていただきました。ほくも画面を見る時間を減らしたり、いっぱい外で遊んだりして対策をしていきたいと思いました。

和リンピックに向けて～一人一人の努力の過程～



和リンピック2022まであと半月となり、どの学年も本番に向けての練習に取り組んでいます。17日は肌寒い中でしたが、2年生がフラッグを持って元気よく校庭に飛び出していました。初めての外での練習です。色鮮やかなフラッグが涼しい風に吹かれてとても美しく見えました。しかし、見ている私たちでは気づかない子どもたちの大変さがあるようです。担任の先生方によると、低学年の子どもには「肘をしっかり伸ばす」「脇を思い

いきり開く」といった動きはとても難しいのだそうです。また、2年生にとって旗は決して軽い物ではありません。風になびけばなびくほど重みを感じます。すると、余計に「大きく動かす」ということが難しいようです。そんな子どもたちのことを理解して、指導する担任の先生方は「おー、上手!とってきれいだよ!」とたくさん褒め言葉をかけ、「あと2回練習したら終わりだからね。おいしい給食が待っているよ!」と見通しを持たせてやる気を継続できるようにしていました。終わりの挨拶をした子どもたちは、「今日はがんばったぞ!」という思いが表れたすがすがしい表情で教室前のテラスに向かって走って行きました。

5・6年生の表現の練習では、先生が進行するのではなく、6年生の実行委員のみなさんが前に立ち、今日は何の練習



をするのか発表していました。その後、全員が目を閉じて、一人一人、今日の練習の目標を考えます。練習後も毎回振り返りの時間をとり、実行委員さんが指名した子がその日の練習の振り返りを発表していました。急に指名されてもどの子もしっかりとその日の成果や課題を述べる事ができていました。話す友だちの方にしっかり体を向けて聞いたり、先生のアドバイスを頷きながら聞いたり、きちんと返事をしたりする姿からもさすがは高学年「子どもたち自身が作りあげていく和リンピックなんだな。」ということを感じさせられました。



1年生は、校庭に出てまず整列練習をしていました。その後、先生の動きを真似しながら入念に準備運動をし、かけっこの練習に取り組んでいました。まだ練習を始めてから間もないのに、まっすぐにならなくて、姿勢良く自分の走る順番を待っていました。「わたし、かけっこにがてなの。」「おれ、かけっことくい！」など練習後はたくさんの子が話してくれましたが、どの子も初めての練習なのに走る姿は真剣そのもの。初めての和リンピックに向けてとても気合いが入っていることが感じられました。

足の速い子も遅い子もゴール目指して精一杯頑張る姿を見せてくれそうです。

4年生はスクリーンに映された動画を真似しながらダンス練習に取り組んでいました。担任の先生が格好良く見えるためのポイントを教えると、見違えるようにダンスに切れが出てきます。見ている方はあまりわかりませんが、今回のダンスはテンポが速く、次々に動きが変わっていくのでとても大変なのだそうです。4年生のみんなは友だちと動きを合わせるために「1・2・3・4…」と小声でリズムを数えながら踊っているので余計に息が切れるようです。



3年生は暑い中、短距離走の練習に取り組んでいました。本番と同じ組分けでまさに真剣勝負！みんな少し土が柔らかめのコーナーに苦しみながらもとなりのコースの友だちに負けまいと精一杯の走りでした。いくら体力がある子どもたちでもトラック3分の2に当たる距離はとても長いようで、ゴールした後は息を切らしながら腰に手を当て辛そうにしていたり、グラウンドに座りこんだり。「つかれる～！もうっ！教頭先生も走ってみれば！」とちょっと

お怒りモードの子も見られました。

保護者の皆様に見ていただけるのは子どもたちの本番の姿だけですが、私たち職員はありがたいことに、本番に至るまでの過程と一緒に過ごさせてもらっています。思い通りにできなかつたり、失敗して悲しんだりする姿も見かけます。けれど、練習を重ねて成長していく子どもたちの姿をたくさん見ることができ、子どもたちからパワーをもらっています。ぜひ和リンピック当日は、「家族にいい姿を見せたい！」という一心で、頑張って練習してきたお子さんの当日までの過程を想像しながら見てあげてください。そして、当日の姿や結果だけではなく、当日まで懸命に取り組んできたことをたくさん褒めてあげてください。

学び続ける～今月の職員研修の様子から～

11日に非違行為防止研修を行いました。和リンピックに向けての子どもたちへの指導の仕方について、事例をもとに考え、「多様性を認めながら指導をしていくことが大切であること」を確認しました。学校長からは「和リンピックに向けて、子どもたち一人一人のやる気に火をつけられるといい。たとえそろわなくても、精一杯の姿には必ず感動がある」というアドバイスがありました。「教師も児童もみんなが笑顔一杯で楽しめるようにしよう！」と心を一つにしました。



岡澤先生のお話

18日には東御市教育委員会の岡澤健一先生に来ていただき、人権同和教育研修を行いました。「差別」についてその歴史的背景を詳しく教えていただいたり、私たち教師がどのような意識をもつことがいじめや差別を防ぐことにつながるかに教えていただいたりしました。教師の意識が高ければ学級全体に「いじめや差別は絶対に許さない！」という雰囲気ができることをお聞きし、あらためて自分自身の人権意識を見つめ直すよい機会となりました。

16日は今年度の「かのうタイム」(総合的な学習の時間、生活科)でどんなことに取り組んでいきたいかを考えました。全体で「教師も児童もワクワクするよなかのうタイムにしよう！」ということを確認し、4グループに分かれて、今年度の活動についてアイディアを出し合いました。あるグループでは、H先生が「こんな活動をやったことあるよ！」とその時の写真を見せながら、子どもたちの様子を語り、T先生が「すごーい！」と目を輝かせていました。

(T先生は早速学級で取り組んだそうです。)

「いいじゃん。できそうじゃん。」「面白そうだね！盛り上がりそう！」と、どのグループも会話が途切れることがありませんでした。



和小学校を支えてくれるみなさんの熱い思いに感動！



12日に「信州型コミュニティスクール学校運営委員会」を行いました。昨年度の「かのうタイム」での活動の様子を紹介し、活動を通じての成果や子どもたちの成長をお伝えしました。また、活動を進めていく上での悩みを学校職員が率直に語り、委員のみなさんからアドバイスをいただきました。低学年がなかなか地域の方と一緒に活動できる機会がもてないという悩みに、委員長の伊藤隆也さんから『ジャンボかぼちゃの種まき』にかかわれないか考えてみたい。」と仰っていただき、副委員長の池田節子さんからは

「敷地内の枅の木を使って活動をしてみたら？」という提案をいただきました。委員さんから「4年生の森林学習で伐採した枝で何かつくりたいかな？」という提案もいただきました。「とにかく、先生方、どんなことでも相談してみたい。」という力強い声をいただき、とても嬉しくなりました。和地域の皆様の子どもたちへの思いの深さと温かさを感じるとても素敵な会でした。

1年生の保護者の皆様、引き渡し訓練へのご協力ありがとうございました！

20日に「1学年引き渡し訓練」を行いました。保護者の皆様が譲り合って駐車していただき、心配していた南駐車場の混雑や駐車場でのトラブルもありませんでした。また、時間や引き取り方の手順を守って訓練に参加して下さったおかげで、20分もかからずに全員を引き渡すことができました。「ごろうさます。」「ありがとうございました。」といった声を



たくさんいただき、子どもたちもみんな「さようなら」と笑顔で挨拶してくれました。本当に嬉しかったです。同じ一保護者として、みなさんの姿を見習いたいと思いました。本当にありがとうございました。

何とぞ、ご理解とご協力をお願いします

先日、和リンピックで駐車場利用を希望されるご家庭に駐車許可証を配布しました。土曜日開催であり、まだ収穫の時期を迎えていないということで和保育園やJA等、多くの皆様から駐車場を提供していただくことができ、希望された91家庭全ての駐車スペースを確保することができました。

しかし、7月の低・高学年参観日や11月の人権教育参観日等、平日開催の行事では、駐車場は僅か(50台ほど)しか確保できません。和小的の校庭は土質が柔らかく、車を入れると傷んでしまう部分が多いです。今から予定を組んでいただき、スクールバスを利用している地域の方や特別な事情がある方以外には徒歩での来校をお願いいたします。

春のPTA環境整備作業

21日、小雨の中PTA作業が行われました。6年生もたくさん参加してくれ、普段は手が届かない部分がとてもきれいになりました。本当にありがとうございました。



6月の予定

- 1日(水) 安全の日
 - 3日(金) 和リンピック前日準備
 - 4日(土) 和リンピック(半日開催) 雨天
順延(翌日へ)
 - 6日(月) 振替休業 **学校集金口座振替日**
 - 7日(火) 月曜日課
 - 8日(水) 3年社会見学 職員救命法研修
 - 9日(木) 市教育委員会学校訪問
 - 10日(金) 避難訓練 3年リコーダー講習
 - 13日(月) 耳鼻科検診
 - 14日(火) 新体力テスト
 - 15日(水) 眼科検診 6年和記念館清掃
 - 16日(木) 職員救急救命法実技研修
 - 17日(金) 人権同和教育懇談会
 - 20日(月) 4年社会見学
民生児童委員との懇談会
 - 21日(火) 歯科検診3・4年 SC来校日
新体力テスト(予備日)
 - 22日(水) 人権同和教育講演会
 - 23日(木) 校長講話 児童会
 - 24日(金) 6年認知症サポーター講座
 - 27日(月) プール開き
 - 28日(火) 5年高原学習(1日目)
 - 29日(水) 5年高原学習(2日目)
放課後げんき塾①
 - 30日(木) 5年休業日 創造館学習6年

- 5月下旬になり「会話が少なければ屋外マスク不要」の方針が政府から示されました。子どもたち(特に1年生など)にとっては、「マスクをつけた顔しか知らない」という友達や先生も多くいたのではないかと思います。ようやく互いの表情を直接目にしてコミュニケーションをとれる機会が増えていきます。引き続き感染対策には十分配慮しながら、子どもたちの周囲の人々との関係づくりが一層深まっていくことを願っています。 文責：校長・教頭